

KSKP

たびだち つうしん

出

発

通

信

NPO法人 出発のなかまの会

168号



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物承認
 毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行

ちくじ
目次

しんねん あいさつ 新年のご挨拶にかえて	2
いくの ひび ねいろ たんじょう ものがたり 生野のまちに響くオルガンの音色 ~ストリートオルガン誕生の物語~	4
せつりつ しゅうねんきねん しゅうねん ぜんいんしゅうごう 設立40周年記念イベント“40周年だよ！全員集合！”	5
たいかい おおさか さんか ピープルファースト大会in大阪に参加しました！	6
しんぶん どんどん新聞より	7
ひと あ かなざわ あの人に会いに金沢へ	8
ちいき く れい わたしたちは地域で暮らしているんだ／お礼	9
こそだ にっき スタッフ子育て日記	10
にんてい こうしんてつづ かんりょう 認定NPO更新手続きが完了しました	11
かつどう 活動のあと	12

新年のご挨拶にかえて

最近、SDGs（持続可能な開発目標）という言葉をよく聞くようになりました。これは 2015 年に国連で採択された 2030 年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための 17 の目標、169 の具体目標から構成され、「地球上の誰一人取り残さない」という理念を誓っています。これは、私たちが目指している“誰もが排除されることのない社会”と重なるところでもあります。

今年度は、当会が活動を始めて 40 年の節目の年です。活動開始当初、無償で場所を提供していただき、障害児や親御さんたち、多くのボランティアの方々に協力していただきながら複数棟の建物を建て、キャンプ場として利用していた兵庫県但東町のキャンプ場の建物すべてを昨年末に解体、撤去しました。会の大坂での活動が多忙になり、ほとんど訪問できなくなってからも、“今後使うこともあるかもしれない”とご厚意で 10 年以上残していただいていたのですが、世代交代も近づき、このままではご迷惑をおかけすることが予想されるため、元の形でお返しすることになりました。形としてのキャンプ場はなくなりましたが、メンバーを始め多くの方々の思いの詰まった活動は、記憶の中に残り続けることでしょう。

今年 3 月には、設立 40 周年記念イベントを開催します（後掲 5 ページ）。“貧困”“格差”が時代のキーワードとなって随分時間も経ちましたが、出会う方々の生活の困難さに驚き、心を痛めながらも状況を変えるには至らないまま、時は過ぎていきます。もちろん、社会変革を求めるアクションも必要ですが、それと同時に困難な状況にある方々から目を背けず、“共にあり続けること”が重要だと感じています。

私たちが活動を続ける大阪市生野区は少子高齢化が進み、空家率も 20% を超えています。そして、“戦後最悪の日韓関係”と言われる中、2 万人を超える在日コリアンに加え世界 60 ヶ国以上の外国人が暮らし、外国籍住民比率も 20% を超えており、数字だけ見るとまさに“課題先進地域”です。しかし、“ピンチはチャンス”です。この地域には困難な状況をしたたかに生き抜き、さらには“笑い”にまで変えてしまうようなエネルギーを感じます。遅々とした歩みではありますが、松野農園やみらくるクラブ・みらくるちっぷ、諸連絡会等での活動を通じ、さまざまなネットワークが複層的につながってきています。40 周年記念イベントでは、これまでの活動を振り返ると同時に、未来に向けての一步を踏み出す機会を

みなさま いっしょ も かんが
皆様と一緒に持ちたいと考えています。

4 月には中高生対象の新しい放課後等デイサービスをオープンする予定にしています。
主に幼児～小学生対象のみらくるちっぷを運営することで、医療的ケアを必要とする子や
複雑な家庭環境の子など、さまざまな“排除されやすい子ども”や保護者と出会ってきました。
また、学校に行けない子どもたちと出会うことも増えてきました。学齢期の子は“学校
に行かない＝社会的なつながりを持たない”ことに結びつきやすいのが現状です。子どもた
ちが社会的なつながりを持ち、自尊心を高めながらエンパワメントしていけるような場所の
必要性を感じ、深刻な人材不足の折ではありますが、“ピンチはチャンス”だと信じ、多くの
方々にご協力をお願いし、新たな出会いにつながる機会ととらえて新規事業を開設するこ
とにしました。昨年末には、新拠点予定地の元・倉庫に小学校高学年の子どもたちと訪れ
ました。別のNPO法人が子どもたちの居場所として使っていた場所を居抜きでお借りし、
今後リフォームして使用する予定で、目の前には“ふれーぱーく”やみらくるクラブで使用
させてもらっている“ヨルダン広場”があります。非常に不安が高いため小学校にほとん
ど通えず、「中学校には行かへん！みらくるちっぷ以外には絶対に行かへん！」と言ってい
た子が、この場所に入るなり「ここ、めっちゃ楽しい！ヤバイ！」と遊び始め、「来年から、
ここやな。」と目を輝かせていました。“つながりの力”がこの子の背中を押してくれたよ
うに感じました。

今年も出会いの中から見えてきた困難に向き合い、当事者の方々と共に悩み、楽しみなが
ら活動を続けたいと思っています。多様な出会いが、誰もが暮らしやすいまちづくりにつな
がる年になりますように。

(ミサオ・K)



いくの ひび ねいろ たんじょう ものがたり
 生野のまちに響くオルガンの音色～ストリートオルガン誕生の物語～
 (生野 “食と農のプロジェクトニュース” No.58 より抜粋改編)



まつのうえん ねん かつどう とうじ いくの
 松野農園は2014年から活動をおこなっています。そのときに、生野
 くない こうぼう もっこうさっか こ 子どもたち向けの「木工教室」
 を開催してもらっていました。

おな じき まつのうえん しかくしょうがい ふたご ちゅうがくせい とうじ
 同じ時期に松野農園で、視覚障害のある双子の中学生（当時）がイベ
 ント等で活動していました。松野農園を立ち上げた前代表理事の「目が見えなくても、演奏
 できる楽器を中学生につくってほしい。」という願いから、今回の「ストリートオルガン」
 の物語は始まりました。

Ｙさんは制作に取り掛かってくれましたが、実物をみたことがないこと、木工の技術はあ
 っても音階がわからない事で試行錯誤を繰り返されました。それでもなかなか完成には至ら
 ず、半ば諦めかけていました。そんなときにテレビ取材があり、そのテレビ放送を見ていた
 兵庫県和田山在住のIさんが工房を訪れ、ストリートオルガンを見て「この音を絶対聞きた
 い！早くつくって。」と言われたことから、制作の物語は再び動き始めました。

Iさんの要望を聞いて以降も、やはり音階がわからないという壁に突き当たります。そうこ
 うしている中、もうそろそろ完成しているだろうと思っていたIさんから連絡が入ります。し
 かしながら、完成には至っていません。Iさんは業を煮やして、知り合いの音楽家に直接
 連絡を取り、工房に行ってほしいと懇願した結果、工房に足を運ばれたのが今回の音楽会に
 も参加いただいた四条畷在住のキーボード演奏者のWさんでした。Wさんとの出会いか
 ら、音階が制作されていくことになります。音を出しながら、ミリ単位で木を切って音を
 調整する作業。音楽家と木工家との労を惜しまない、トキを忘れて取り組むモノづくりの
 魂。

制作を開始してから4年の歳月を要しました。完成したという一報をYさんから聞いたと
 きに、ぜひ松野農園でお披露目の音楽会を、制作にたずさわった方々に来ていただいておこ
 ないたいと思いました。それは11月10日日曜日に実現しました。

松野農園で活動している中学生にも、素敵な飾りつけを制作してもらいました。

制作を依頼した前代表理事は、今はもうこの世にはいません。ストリートオルガンの音色
 は聞こえていただろうか。きっと届いていたに違いない。そう思えた音楽会でした。

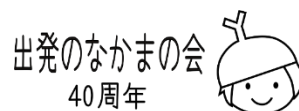
(トオル・Ｙ)

設立40周年記念イベント “40周年だよ！全員集合！”

この度、当会は設立40年の節目を迎えることができました。みなさまの熱意、情熱、やる気、根気、勇気、実にさまざまな思いで積み重ねた年月を振り返るとともに、あらたな時代の1ページをひらく良き日となるよう、2020年3月9日月曜日、そうです、サンキューの日！！に、記念イベントを開催します。会員のみなさまはもちろん、関係団体、市民の皆様にもこの機会にぜひ会場に足を運んでいただき、交流の機会としたいと思っています。現在、開催に向けてせっせと準備・調整中です！開催当日、内容に若干の変更が出る可能性があります。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日時：2020年3月9日（月） [1部] 13：30～ [2部] 18：00～

会場：東成区民センター6階小ホール



内容：

[1部] 13：30開場 13：40開始（入場無料）

- ・オープニングアクト “セレブレーション”
- ・たびだちメモリプレイ
- ・記念シンポジウム「#とともに生きる #孤立 #無縁 #格差 #社会への挑戦」

コーディネーター：古井克憲さん（和歌山大学）

シンポジスト：行澤公子さん（海鷗トラベル／いくの生活ともの会）

：隅田耕史さん（NPO法人フェリスモンテ）

：木村和弘さん（一般社団法人いくのもり）

：出口希子さん（NPO法人日和）

：塚本莉朱実さん（自立生活センター・どんどん）

[2部] 18：00開場 18：30開演

- ・映画『道草』自主上映 & 穴戸大裕監督トークコーナー

前売券1000円（たびたんグッズ付き）／当日券1000円

（チケット代の一部を「郡山あいえるの会の自立移行住宅プロジェクト」へ寄付します）

※お問い合わせ：TEL06-6754-3011 ヘルプセンター・すきっぷ（担当：石井）



ピープルファースト大会in大阪に参加しました！



11月29日、30日とピープルファースト大会に参加しました。今年の開催は大阪で、KさんとTさんには開会式で全国からの参加人数を発表するという重大な役割を任されていました。リハーサルでは、モニターに映る「〇〇県、△△人」というのを見ながら読み上げようとしたのですが、Kさんは見えにくかったようで、後ろから支援者が教えてそれを大きな声で発表する形になりました。

本番前に少し早めの昼食をとり、舞台袖で待機していると、ちょっと前まで係の人を呼び「ねえ、まだ？」と確認してニコニコしていたTさんでしたが、本番直前になるとさすがに緊張してきたのか表情が硬くなっていました。本番では、リハーサルと発表の順番が違ったり、ステージに上った人の影で参加人数が見えなかったりと、発表しているKさんやTさんよりも自分のほうが緊張していたような気がします。当日の参加者は約900人。それを前にして堂々と発表していた2人は本当にスゴイと思いました。

自立生活センター・どんどんは“ファッションショー～大阪コレクション2019～”をテーマに、分科会を担当することになりました。ILPのようにオシャレ番長（リーダー）や司会など役割を決め、買い出しや打ち合わせをしました。

分科会当日の朝、開場前から入り口には参加者が集まり、寒い中まだかまだかと待っていました。入り口が開くと「早く準備しなくちゃ～！」と、会場のある4階まで荷物を持って階段を駆け上がりました。バタバタとなんとか準備を完了させ、部屋を暗くしてミラーボールで雰囲気を出し、どんどんメンバーの司会でファッションショーが始まりました。

名前を呼ばれた順にレッドカーペットの上をカッコよく&かわいく歩き、最後に決めポーズ！という流れで約60人の参加者が会場を盛り上げました。ファッションショーの後のダンスタイムでは、“エビカニクス”と“USA”を踊り、最後の“YMCA”での盛り上がりはすごかったです。昔のディスコを彷彿とさせました（笑）みなさんととても楽しそうで、写真撮影では、精鋭たちが3日で完成させた“大阪が凝縮された顔出し看板”が大好評でした。「忙しいんやで！」と言いながら、夜遅くまで色塗りをしてくれていたのを見たときは「アホやな～」とってしまいましたが（笑）

閉会式では、来年のピープルファーストは会場の都合で開催しないこと、2021年が兵庫、その次が北海道だと発表されました。来年の開催が無いのが残念ですが、兵庫はすぐそこですし、旅行も兼ねて北海道にも行けたらいいなと思います。（ジュン・M）

とんとん新聞^{しんぶん}No.181 から抜粋^{ぼっすい}しています。

とんとん新聞^{しんぶん}No.181



発行日^{はっこうび} 2019^{ねん} 12^{がつ} 16^{にち}

発行者^{はっこうしゃ} 自立生活センター・とんとん

大阪^{おおさか}市^{かし}生野区^{いくのく}田島^{たじま}1-10-30

tel 06-6758-6641 fax 06-6758-6749

じてんしゃべんきょうかい 自転車勉強会をしました

日時^{にちじ}:2019^{ねん}年^{ねん}10^{がつ}月^{にち}10^{もく}日^{もく}(木) 場所^{ばしよ}:とといの木^き1階^{かい}

◆いろいろな決まりがあるんや~!

じてんしゃ^{じてんしゃ}に安全^{あんぜん}に乗るために勉強会^{べんきょうかい}をしました。じてんしゃ^{じてんしゃ}はたくさん^{ひと}の^の人が乗っている身近な^{みぢか}の^のもの^{もの}ですが、法律^{ほりつ}が変わり^か難^{むずか}しい決まり^{きまり}が増えています。

模型^{もけい}と絵カード^えをつか^{つか}し^{しゃ}道^{どう}の位置^{いち}を確認^{かくにん}します。横断歩道^{おうだんほどう}をじてんしゃ^{じてんしゃ}でわた^{わた}るときは、車^{くるま}や歩行^{ほこう}者がいないか確認^{かくにん}しないと危険^{きけん}です。道路^{どうろ}の真ん中^{まなか}を走ることがあるNさんは「危ないで~!」と参加者^{さんかしゃぜんいん}全員^{ちゆうい}から注意^{ちゆうい}されました。

踏み切り^{ふみきり}はひら^{ひら}いていても、一時停止^{いちじていし}をしないといけません。「そのまま行^いってた!」と驚^{おどろ}きの声^{こえ}があがります。「一時停止^{いちじていし}の白線^{はくせん}で止^とまる時^{とき}、何^{なに}を確認^{かくにん}しますか?」と聞^きかれたKさんは「車^{くるま}」Tさんは「右左^{みぎひだり}」と答^{こた}えました。他^{ほか}にもネコ^{ひと}、人^{ひと}、ハト等^{なといろいろ}色々な答^{こた}えがつづ^{つづ}きます。正解^{せいがい}は車^{くるま}、人^{ひと}、じてんしゃ^{じてんしゃ}です。Kさんが気^きにしていたのは、お酒^{さけ}を飲^のんでじてんしゃ^{じてんしゃ}に乗^のることです。車^{くるま}と同じ^{おな}で「飲酒運転^{いんしゅうんてん}」になり、法律^{ほりつ}で禁^{きん}止^しされています。ケータイやスマホ^{そうさ}を操作^{そうさ}しながらのじてんしゃ^{じてんしゃ}運転^{うんてん}も法律違反^{ほりついはん}です。「やってる人おんで」とTさんとKさんが報^{ほうこく}告^{こく}しました。

さいご^{さいご}に感想^{かんそう}を聞^きかれたKさんは、「じてんしゃ^{じてんしゃ}が車^{くるま}と思^{おも}わなかった」と教^{おし}えてくれました。

みなさんもじてんしゃ^{じてんしゃ}をうんてん^{うんてん}するときは気^きをつけましょう~。



あの人に会いに金沢へ

10月24日～25日にメンバー3名、支援者3名の6名で金沢に行きました。今回の旅行の目的は10年以上前にお世話になっていたヘルパーのIさんに会いに行くことです。

初日は、12時頃に金沢に到着して、駅近くのお寿司屋さんで食事をとり、21世紀美術館へバスで行きました。混雑していたので、目的の停留所で下車できず、一つ先の停留所で下車するというハプニングがあり、歩いて美術館まで戻りました。(私が旅行すると必ずハプニングがある。まあ、不思議) 21世紀美術館での行動は別々でしたが、みんな長旅で疲れがはじめている感じ。ホテルへ戻り、みんなで夕食はどこで食べるかを即席会議。「何を食べたい？」とSさんに聞くと、「まぐろ、はまち」とはっきりと答えられ驚きました。ホテルから少し離れた居酒屋へ行くと、とんかつを美味しそうに食べるTさん、ビールを飲みながら食事やおしゃべりを楽しむKさん、グループホームではあまり食べる機会のないおでんを美味しそうに食べるSさん(これは新しい発見!)。三者三様に金沢での食事を満喫してから金沢駅に戻り、和太鼓の演奏を鑑賞しました。

二日目は残念ながら、大雨。だれだあ～雨男は? 朝食を食べてから、傘を片手に兼六園へ。少し肌寒かったが、雨で風情のある兼六園を散策してから近くの金沢城にも行きました。その後はお昼を食べに近江町市場へ。いろいろなお店があり、どこへ入ろうか悩みましたが、“えい。やあー”でお店に入りました。高級魚「のどぐろ」はバーナーであぶってあり、脂がのっててうまい。昨夜おでんが気に入ったSさんはここでも金沢おでんをリクエストされました。金沢おでんに「のどぐろ」寿司とくれば、日本酒が欲しいところだったが、「先輩ダメすか?」と聞く勇気がなかった小心者。軽く昼食を済ませ、金沢駅でそれぞれお土産を買いました。金沢ビールを買おうか迷っていたメンバーは金沢でしか買えない!とおもいきり買われました。

お土産をたくさん買って、ついに今回の旅行の目的であるIさんに会うためにタクシー2台に分乗。金沢駅から結構距離があったけど、とうとうIさんが店長を務めるカレー屋さんに着。10年以上も会ってないのに、長い空白期間はすぐに埋まったような感じ。みんな嬉しそう。

思い出話や今のメンバーの写真を見て盛り上がり、あっという間に帰る時間になってしまいました。Iさん、ご馳走様でした。また、大阪に来られた時はぜひお立ち寄りください。

(ユウジ・M)

わたしたちは地域で暮らしているんだ

チラシを見ながら「カレー食べたいな」と、Kさんがぽつりと仰いました。「アプロ横」
「パン（ナンのこと）やな」など、Kさんは具体的な話を続けます。そのカレー店は、ネパ
ールの方が営んでおり、グループホームから徒歩5分のところであって、Kさんは他のメン
バー、ヘルパーと2度ほど食事に行っていたことがあります。しかし、Kさんがひとりで外食
に行ったという記憶が、私の中にはありません。真剣にチラシを見ているKさんに、「ひと
りで行って来る？」と、尋ねました。「うん！行って来る！」と、明るく力強い言葉が返っ
てくるのに、数秒もかかりませんでした。Kさんはチラシからやっと目を離し、生き生きと
した笑顔を私に向けています。きっとKさんは「ひとり、ムリやねん」と答えるだろうと思
っていたので、“ちゃんと注文できるのか？”“店員さんの話は理解できるのか？”予想し
ていなかった答えに、内心あたふたしながらも「Kさんが決めたことやし」と、自分に言い
聞かせ送り出しました。

小一時間たったころ、はあはあと息を切らしながらKさんが「行ってきた～」と、帰って
きました。「パン（ナン）食べた」「美味しかった」と、汗一杯かきながら笑顔で話してくれ
ました。Kさんの満足気な表情を見て、私も笑顔になりました。

(アツコ・S)



れい
お礼

いくのくしゃかいふくしきょうぎかい ぜんいぎんこうじぎょう こめ
生野区社会福祉協議会 善意銀行事業より米30キロをいただきました。

ありがとうございました。

スタッフ子育て日記

前回『スタッフ子育て日記』を書かせてもらってから、早いもので6年の月日が流れました。中1だった長女は、大学1回生になり、小3だった次女は、中学3年生になりました。私も歳は重ねましたが、相変わらずの『バタバタかあちゃん』です。

この6年の間に、次女が「家庭崩壊やなっ！」というほど大変だった長女の受験目前での「えっ！今？」という大反抗期がありました。私たちは、普通な流れで公立高校に行くものだと思っていたのですが、この決めつけが長女にプレッシャーをかけていました。実は他に行きたい私立高校があったのに、言えなかったそうです。3月までいろいろありましたが、最終的に希望の高校に入学し、とっても楽しい3年間を過ごすことができました。もちろん春からは、大学生生活をめいっぱい謳歌しております。

次女は、好きだったはずのクラブを辞めることになり、辞めてしまったという挫折を味わいました。そんな次女にもとうとう高校受験の時期がやってきました。勉強は大の苦手ですが、よく笑いよく泣く、とっても感受性豊かで、ユニークな次女が目指しているのは看護師です。入院した私の父のお見舞いに行ったとき、とても短気な父に看護師さんたちは優しく接し、父を笑顔にしてくれていました。次女はその時『しんどくて病院に来た人を笑顔にしてあげられる看護師になりたい！』と思ったそうです。父が実家で亡くなった時には、訪問看護師さんに教えてもらいながら、頭や顔を洗ってあげていました。自分から進んでキレイにしてあげている姿がとても真剣で、次女が看護師になれたらいいなと心から思いました。でも看護学校に進学するためには、高校で次女の一番苦手な数学を頑張らないといけません。「どうしよう…」と揺れることもありますが、「大丈夫！」と根拠のない自信もあるようです。あれこれ本当に心配は尽きませんが、次女が夢に少しでも近づけるように、応援していきたいと思えます。

二人とも大きくなって、私の知らない世界がどんどん多くなってきました。過保護な『バタバタかあちゃん』は、寂しくもありますが、これから彼女たちがどんなことに心躍らせ、どんな人たちと出会い、成長していくのかとても楽しみでもあります。

(ヨシミ・I)



認定NPOの更新手続きが完了しました

いつも当会の活動にご支援いただきありがとうございます。

認定特定非営利活動法人の認定の有効期間の更新手続きが無事完了しました。毎年たくさんの方に寄付者になっていただき、本当に感謝しております。これからも認定特定非営利活動法人として活動を続けていくために、ご協力よろしくお願いいたします。

【認定の有効期間 令和元年7月11日～令和6年7月10日】

今後も“地域で支援を必要としている人”に必要な支援ができるように、“生きにくさを抱えた人”が社会から孤立することがないように、当事者の方や地域の方と共に、日々の活動をとおして『地域』づくりの取り組みをすすめていきたいと思っております。正会員、寄付者として出発のなかまの会の活動をご支援ください！

◆正会員・・・活動を支援し、総会に参加して下さる個人の方

会費3,000円＋通信送料300円 計3,300円

◆寄付者・・・活動を支援して下さる個人・団体の方

寄付金 年間3,000円以上

★認定NPO法人として認定されましたので、当会へのご寄付は、税制上の優遇措置

【所得税・個人住民税(大阪市内・府内にお住まいの方)】を受けられるようになりました。

☆振込先：郵便振替 00910-9-306080

特定非営利活動法人 出発のなかまの会



活動のあと

8/29 執行委員会	11/6 成年後見推進委員会/防災担当委員会
8/30 自閉症連続研修会③	11/7 通信編集委員会
8/31 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座① 内部研修(発達障害勉強会)	11/8 障大連大阪市内ブロック会議(交渉学習会) 大阪ガス主催フォーラム
9/1 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座②	11/10 Sunny Smile 英語交流(松野農園) ストリートオルガンお披露目音楽会(松野農園)
9/2~21 ゆうのゆうにて絵画展開催	11/11 執行委員会
9/3 消防設備等法定点検①/内部研修(防災研修①)	11/11~24 実習受入れ(四天王寺大学)
9/4 消防設備等法定点検②/内部研修(防災研修②)	11/12 どんどん学習会(対市交渉)
9/6 グループホームスタッフ全体会議	11/13 生野区グループホーム連絡会世話人会 生野区学童期のこども支援連絡会役員会
9/7 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座③ 内部研修(発達障害勉強会)	11/14 松野農園文化交流祭 2019(松野農園) 生野区自立支援訪問系事業者連絡会
9/11 生野区学童期のこども支援連絡会役員会 J-pal 親の会講演 生野区グループホーム連絡会世話人会	11/15 食と農のプロジェクトをすすめる会 (生野区社会福祉協議会) どろん(松野農園)
9/12 ハローワーク見学会/生野区自立支援訪問系事業者連絡会	生野子育ち社会化研究会ブレ調査報告会
9/13 研修受入れ(社会福祉法人イエス団)/ヘルパー座談会	11/16 内部研修(人権研修①)
9/13~15 名古屋旅行	11/17 サラダボウルプロジェクト(松野農園)
9/15~16 みらくるクラブ【高取山キャンプ】	第5回みんなでゆ〜楽太極拳参加
9/17 認定NPO法人更新実地調査①	障大連事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議
9/18 生野区学童期のこども支援連絡会 生野区NPO連絡会役員会	11/19 内部研修(人権研修②)
9/19 ハローワーク面接会/障大連世話人研修	11/20 金沢旅行報告会/生野区学童期のこども支援連絡会
9/20 食と農のプロジェクトをすすめる会(てんぷらー) 障大連大阪市内ブロック会議	11/20~22 東京デイズニー旅行
9/24 認定NPO法人更新実地調査② 神奈川旅行報告会/安全委員会	11/21 大阪市オールラウンド交渉①
9/25 大阪市集団指導/作業所ミーティング 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)	11/22 内部研修(人権研修③)/地域共生ケア生野推進委員会
9/26 どんどんプロジェクト会議	11/23 第10回東北⇄関西⇄九州ポジティブ生活文化交流祭出店
9/27 執行委員会/どろん(松野農園) 地域共生ケア生野推進委員会/障大連運営委員会	11/24 みらくるクラブ【運動会】(舍利寺小学校)
9/28 みらくる学習会/読書会(松野農園)/	11/25 大阪市オールラウンド交渉②
9/29 サラダボウルプロジェクト(松野農園) Sunny Smile 英語交流(松野農園)	11/26 成年後見制度学習会/障大連全体会
9/30 障大連事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議	11/27 ヘルパー交流会/生野区NPO連絡会役員会/大阪市訪問
10/2 不登校・ひきこもり支援連絡会 デイサービス コサージュ運営推進会議	11/29 執行委員会
10/4 グループホームスタッフ全体会議/出発通信発送	11/30 内部研修(発達障害勉強会)
10/8 大阪府立桃谷高等学校職業理解説明会	11/29~30 ピープルファースト大会 in 大阪
10/9 ケア研修『コミュニケーション』 生野区グループホーム連絡会 生野区学童期のこども支援連絡会役員会	12/1 Sunny Smile 英語交流(松野農園)
10/10 内部研修(「道草」上映会①)/どんどん勉強会(自転車) 生野区自立支援訪問系事業者連絡会	12/2 理事会
10/11 第三者委員会/内部研修(「道草」上映会②)	12/3 内部研修(感染症予防研修①)
10/15~17 長崎旅行	12/4 内部研修(感染症予防研修②)
10/16 生野区学童期のこども支援連絡会	12/6 グループホームスタッフ全体会議/八尾事件を考える会
10/18 食と農のプロジェクトをすすめる会(松野農園)	12/11 作業所ミーティング 生野区学童期のこども支援連絡会役員会 長崎旅行報告会/生野区グループホーム連絡会
10/19 サラダボウルプロジェクト(松野農園)	12/12 関西大学堺キャンパス講演(どんどん) 生野区自立支援訪問系事業者連絡会
10/20 IKH 交流会(松野農園)	12/14 みらくるちっぷ懇談会/みらくるジャンプ(松野農園) サラダボウルプロジェクト(松野農園)
10/23 作業所ミーティング/らいすケア会議	12/15 みらくるクラブ【もちつき】(松野農園) 大阪障害者自立セミナー2019 大阪城クリスマスリレーマラソン
10/24 奈良教育大学講演(どんどん)/きららチーム会議	12/20 食と農のプロジェクトをすすめる会 (生野区社会福祉協議会) どろん(松野農園)
10/24~25 金沢旅行	12/21 内部研修(発達障害勉強会)/読書会(松野農園)
10/25 どろん(松野農園)/地域共生ケア生野推進委員会役員会 BCP研究会	12/22 歌とピアノの音楽会(松野農園)
10/27 内部研修(職員パワーアップ会議)	12/23 生野区NPO連絡会役員会 障大連事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議
10/30 ファミリー会と食事会/生野区NPO連絡会研修	12/24 東京デイズニー旅行報告会
10/31 執行委員会/八尾事件を考える会	12/25 地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)
11/1 グループホームスタッフ全体会議/大阪府との協議	12/26 執行委員会
11/5 ケア会議	12/27 作業所もちつき

一九八四年八月二十日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二・二 東興ビル4階

頒価百円

編集後記

「平成」から「令和」へと切り替わっても日々
の暮らしは変わらず続く…。
けれど、今年は2020年！なんとゴロがいい!!
オリンピックイヤーでもあります。
昨年につづき、なにか一歩踏み出すには良いタイ
ミングではないでしょうか？
さて・・・何やってみたいかな～私。(マヤ.Y)

編集人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会
〒544-0011
大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内
TEL 06-6758-6641
FAX 06-6758-6749
郵便振替 00910-9-306080
(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)
Eメール nakamanokai-1@tabidati.jp
ホームページ http://www.tabidati.jp/ 750部